



巻頭言

一般社団法人
日本照明委員会
会長 斎藤 孝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月の定時総会、及び理事会において、一般社団法人日本照明委員会(以下、JCIE)の会長を拝命致しました。光と照明の業界の発展に貢献できるよう、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JCIEという団体になじみのない方も多いため、少しだけJCIEについてご紹介いたします。JCIEは照明と光に関するソフト分野の国際標準を作成する国際組織である『国際照明委員会(以下、CIE)』の日本代表団体で、今年で設立して94年を迎えます。CIEへの参加国は36カ国、JCIEは法人会員が64社、個人会員が約300名で構成されており、CIE・JCIEどちらも比較的小規模な組織ですが、光や色に関する単位や測定方法、照明を利用する環境や部位ごとの照明要件(照度、輝度、均斉度、グレア規制など)を定めるなど、照明を取り扱う際に不可欠なルール、およびその原案を作成・審議するという非常に重要なミッションを担っております。また、特筆すべき点として、CIEは標準化の審議だけでなく、標準化のもととなる基礎的なデータそのものを創出する学術団体としての一般的な標準化団体には見慣れない側面も有しております。CIEの技術委員会・会議に合わせて開催されるカンファレンスでは、国際標準に反映すべく、世界中の研究者から照明と光に関する最新の研究事例が紹介されます。

2013年からはISO(国際標準化機構)内にTC274“Light and Lighting”が設立され、CIEと連携して標準化を推進・加速することがISO-CIE間で取決められたことを受け、JCIEがISO/TC274の国内審議団体として登録して活動しております。

LED照明の普及率は年々増加しており、住宅用照明器具においては、量販店の売り場でLED以外の照明器具を見ることはほとんどなく、また街中を見ても、店内のスポットライトや屋外の防犯灯・街路灯などはLEDへの置換えがかなり進んでいると感じております(もちろん、新規設備はほぼ100%LEDではないでしょうか)。

また、LED照明の特徴である調光調色制御の容易性を活かして、センサーや他機器などと連携して省エネや生産性・快適性を向上させた高機能化(システム化)もみられるようになってきました。しかしながら、基準・法規面について目を向けると、その普及速度や市場ニーズに追いついておらず、日本国内だけでなく世界的にもまだまだ不十分な状況であり、ハード・ソフト両面ともに速やかに、かつ効率よく標準化活動を推進する必要があります。さらに、今後の機器連携に対応するため、照明業界だけでなく情報機器や住宅設備など照明以外の業界との協議・調整も重要になってきました。これら標準化活動については、ハード面を担当する一般社団法人日本照明工業会をはじめ、LED照明に関する完成品からその構成部材や制御機器・システムを取扱う幅広い企業が参加するJLEDSの会員の皆様のご意見を反映して推進したいと考えております。従来はJLEDSの会員研修会やセミナーなどを中心に意見交換を進めておりましたが、今後は、さらに深い連携のあり方をJLEDSの関連委員会の皆さまと協議したいと思います。最後になりましたが、JLEDS、ならびにJLEDS会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。

企画運営委員会の主な活動

【企画運営委員会報告(第4回企画運営委員会、第5回企画運営委員会活動報告)】

■討議事項

①中国・広州国際照明展2016協賛及びジャパンパビリオン共催について

2015年度もJEDS名にて協賛、ジャパンパビリオンの共催をした広州国際照明展であるが2016年も引き続きメッセフランクフルトより協賛の依頼を頂きましたので審議の上協賛する事としました。当会のメリットとしては、アジア地区最大の国際照明展示会にてJLEDS・会員企業のPRが行える事、同展示会へ出張調査に行った場合にホテル代(二泊)を提供頂ける事にあります。協賛にあたり費用負担も発生ありません。正式には、来年度の事業計画が承認されてからとなりますが2016年度も企画運営委員会より、海外出張調査を実施したく考えますので何卒、ご協力を御願います。

②LS-15協賛について

照明学会より、学会創立100周年記念事業の一環として2016/05/22～27日まで京都大学にて行われる15th International Symposium on the Science and Technology of Lighting(通称LS-15)へのJLEDS名義協賛の依頼がありましたので承認しました。

尚、当協会の費用・事務面での負担はありません。

③日経テクノロジーオンラインへの記事案について

昨年度より寄稿させて頂いている日経テクノロジーオンラインにつきましては、ごらん頂いている会員様も多いかと思いますが、今後の予定を報告させていただきますのと同時に業界でのJLEDSの認知度UPのため、記事案を募集しておりますので宜しくお願いします。

・第7回(仮)LED照明による植物育成工場の可能性(2016/01月)

・第8回(仮)LEDロードマップ2015の解説(2016/02月)

④WEB EX(TV会議システム)サービス導入について

の検討

会員企業様のJLEDSセミナー参加、会議参加において開催地への出張経費の課題があるとの声を聞き、近年一般的になりつつあるWEB会議システムのJLEDS導入を検討し、対費用・会議運営効果を考慮した結果、導入する事としました。運用につきましては、正式な案内を致しますので積極的に利用を御願います。

⑤LNS2016期間中の海外企業(台湾)様とJLEDS会員企業様の交流会実施検討

2016/03のLNS2016(JLEDS、日経新聞共催イベント)において、会員企業様のビジネスマッチング等の機会創出として交流会を実施する提案があり、承認されました。

○予定:2016年3月8日(火曜) 夕方

○場所:東京ビックサイト アルポルト

詳細につきましては、これから具体化させていただきますが、ご参加の検討を御願います。

【ご案内】

■LED NEXT STAGE 2016 JLEDS ブースセミナー発表者募集

JLEDSでは、LNS2016の会期中(2016/03/08～11)、本展示会会場内のJLEDSブースにて会員企業様を中心とした製品・技術の発表に利用頂ける場を設け、発表者の募集をする予定です。会場の関係上、30名程度の座席数会場となりますが有効利用を御願います。現在の予定としては、会場貸与の費用は頂きませんが、その代わりに謝金・交通費もお支払いできません。事務局より、正式な応募要項を発信しますので宜しくお願いします。

(委員長 久米 任弘/パナソニック(株))

広報委員会の主な活動

【「LED JAPAN 2015」JLEDSブース出展】

主催:ICS コンベンションデザイン

日時:2015.10.14~16 会場:パシフィコ横浜

総来場者数:3日間合計9,281名

「LED JAPAN 2015」にJLEDSブースを出展し、LEDの啓蒙と入会PRを実施した。技術者、研究者が多く来場する展示会であり、発光効率ロードマップ、LEDの寿命等について多くの質問が寄せられた。会場

では、技術委員会メンバーによる「失敗しないための基礎知識、LED照明の故障要因まるわかり」をテーマに、JLEDSセミナーを3テーマ開催、満席の聴講であった。併せて、LED照明信頼性ハンドブックの販売も行った。展示会としては、前年度より来場者数は増加、LED関連の



<セミナー風景>

ブースは、深紫外LED、LED応用機器の展示が大半となり、一般照明の展示は縮小傾向にあった。

<会場風景>

【「セミコン・ジャパン 2015」JLEDS ブース出展】

主催：SEMI ジャパン

日時：2015.12.16~18 会場：東京ビッグサイト



パネル展示だけの出展ではあったが、JLEDS 標準展示用パネル、パンフレットを設置し LED 照明の啓蒙を図った。

< JLEDS ブース >

【「平成 27 年度第 2 回会員研修会」開催】

日時：2015.11.18 13:30 ~ 17:10

(情報交換会:17:15 ~ 18:45)

会場：大光電機株式会社 (大阪)

参加人数：64 名

①トピックテーマ：「国内 LED 照明市場の過去・現在・未来～成熟局面へのシフトと照明制御 / ソリューション事業の可能性」(株) 富士経済 石井 優 様

②使い手側テーマ：「LED ならではの光環境」

(有) スタイルマテック 代表 松本 浩作 様

③技術テーマ：「植物工場用 LED 照明の現状」

シーシーエス (株) 宮坂 裕司 様

以上の様な、バリエーションに富んだ内容の三つの講演に対し、熱心に聴講頂き活発に質疑がされた。

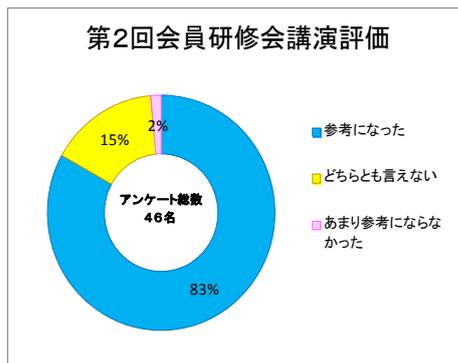


石井様の講演では、紹介された今後のキーワードとなる「Human Centric Lighting」の進化を注目したい、松本様の講演では、デザイナー

< 会員研修会全景 >

視点での LED への期待を知ることができ今後の製品開発の参考になった、宮坂様の講演では、植物工場用 LED 照明を詳しく説明いただき理解しやすかった

等のコメントが寄せられた。LED 照明の新たな気付きとなったようで、参加者全体での評価も高く、若い聴講者には勉強になったとの意見が聞かれた。



< 会員研修会の評価結果 >

【「LED NEXT STAGE 2016」開催のご案内】

日時：2016 年 3 月 8 日 (火) ~ 11 日 (金)

東京ビッグサイト・西ホールにおいて進化する LED と有機 EL の総合展「LED NEXT STAGE 2016」を開催します。

企画展示コーナーでは「みんなで参加 ヒカリ体験ラボ」と銘打ち、LED の新たな可能性を「ヒカリ + α」として提案します。「ヒカリゲート ~ 1 万人の大実験」も実施しますので是非ご参加ください。

内容は最終確定ではありませんが、LED NEXT STAGE 2016 パンフレットの一部を参考掲載します。

(委員長 松本 潤 / 東芝ライテック)

技術委員会の主な活動

【H27 年度 技術委員会 活動進捗】

技術委員会では LED に関する最新技術、新用途に関する「技術セミナー」を実施しております。

今年度 10 月以降の開催実績は以下となっており、LED 業界の交流の場となっております。

■ 2015/10/8

「LED 用高放熱金属ベース基板」:

デンカ(株) 熊谷良太様

「シート工法による白色 LED 封止への取り組み」:

日東電工(株) 松田広和様

「光質を重視したデザインとシステムレベルのコスト効率化」: Cree Inc. Walter Chen 様



< 2015.10.8 技術セミナー全景 >

■ 2015/10/16

会場：LED JAPAN 2016 会場内特設ステージ

共通テーマ：失敗しないための基礎知識 LED 照明の故

障要因まるわかり

「光を操るLED照明のツボ」:

サンケン電気(株) 佐野武志様

「ΔVF (Δブイエフ) で見る予知」:

(株)テクノローク 星野房雄様

「光を測って、図り、そして計る?」:

大塚電子(株) 大嶋浩正様



< 2015.10.16 技術セミナー全景 >

■ 2015/10/22

「人工光型植物工場に関する諸課題の諸外国における現状」:千葉大学 古在豊樹 名誉教授



< 2015.10.22 技術セミナー全景 >

■ 2015/11/27

「LED照明に適した放熱ソリューションのご提案」:

古河電気工業(株) 川端賢也様

「カドミウムフリー量子ドットの照明用途への応用」:

Nanoco Technologies Limited. Nigel L. Pickett 様



< 2015.11.27 技術セミナー全景 >

■ 2015/12/4

会場:シキボウホール カワサキテクノロジーサーチ様主催
セミナーへの出張講演

「LED照明用デバイスの信頼性についての評価と具体的方法」:篠原電機(株) 加藤正明様

■ 2015/12/4

「メタクリル樹脂の基礎と商品紹介」:

三菱レイヨン(株) 千葉裕治様・松本浩紀様

「ポリカーボネート樹脂の高機能化」:

帝人(株) 三宅利往様

■ 2015/12/18

「LED照明と可視光通信」:

慶応義塾大学大学院 春山真一郎教授

■ 今後の予定

2016年2月5日、3月3日にも技術セミナーを予定しておりますので、どうぞJLEDSホームページ (<http://www.led.or.jp/index.htm>) をご注視ください。会員企業は無料、非会員企業は有料ですが聴講できます。

なお、2016年3月8日～11日に東京ビックサイトで主催します「LED NEXT STAGE 2016」におきましても、JLEDS技術委員会主催セミナー(無料)を会場内JLEDSブースにて行う予定です。お聴き逃しなく。

(委員長 安田 剛規/昭和電工(株))

事務局からの報告

【事業活動報告】

1. 理事会

'15/11/05 第3回理事会開催

2. JLEDS委員会関係

'15/10/20 第4回企画運営委員会

'15/11/12 第4回広報委員会

'15/11/20 第3技術委員会リーダー会議

'15/12/17 第5回企画運営委員会

3. 顧問団体連携会議

'15/10/20 第2回顧問会議

'15/11/13 第4回LED照明連絡会

【その他の活動報告】

1. 関係団体活動参加

'15/10/08 第5回経済産業省非鉄金属課 懇談会

'15/11/19 第6回経済産業省非鉄金属課 懇談会

'15/12/10 第7回経済産業省非鉄金属課 懇談会

'15/11/09 照明学会 100年史編集委員会

'15/12/14 日本照明工業会 照明用LED技術小委員会

'15/11/6～27 照明学会照明コンサルタント更新講習 全国6ヶ所講師受諾実施

2. その他

日本経済新聞社、JLEDS共催の平成28年3月8日～11日開催「LED NEXT STAGE2016」は、本年7月LED照明シンポジウムを皮切りにプロモーションを展開し、「『ヒカリ+α』で拡がるLEDの可能性」をテーマに新しい企業様からの出展も頂き、12月2日出展社説明会を実施しました。

Japan LED Association

JLEDS NEWS / 第29号

内容に関するご意見、ご質問はJLEDS事務局までお寄せください。
本書の内容を無断で複写・複製・転載することを禁じます。

発行 2016年1月1日

発行人 小紫正樹

発行所 特定非営利活動法人LED照明推進協議会

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目5番11号

第11 東洋海事ビル6階

TEL (03)3592-1382 (代) / FAX (03)3592-1285

URL <http://www.led.or.jp/>

E-mail info@led.or.jp